

遺愛寮の昨今

遺愛には寮があります。遺愛寮は今年で128年目になりました。『遺愛75周年史』によると、明治20年（123年前）頃、校舎は函館山にあり2階建てで、1階が教室、2階が寮と職員室になっていました。寮生は70名で、食事は賄いの老女が1人で作りますが、輪番で生徒が手助けをしていました。夜7時から自習を行い、幼い者は8時まで1時間、12～13歳は8時半まで1時間半、15～16歳以上の生徒は9時半まで2時間30分毎日欠かさず勉強していました。当時の授業は厳しく、落第がかなり出ていたようです。英語も英語の時間だけでなく、音楽、体育、家庭の授業なども英語で行われていたようです。ですから当時の寮生は授業についていくために必死になって勉強していました。

現在の遺愛寮はもちろん校舎とは別ですが、遺愛の敷地内にあります。106名収容可能ですが、現在は70数名入寮しています。遠くは埼玉県、青森県、宗谷、上川、空知、十勝、北見、網走方面から来ています。今は食事の手伝いはありませんが、義務自習時間は2時間あり、寮生には成績優秀者が多いようです。

新入生は入寮して2週間経ちました。緊張の日々ですが、あと10日間頑張ると、ゴールデンウィークで実家に帰れます。昨日（4月21日）は新入寮生歓迎会が行われました。豪華なごちそう（お寿司、サラダ、グラタン、クリームスープ、フルーツポンチ、ミニケーキ、アイスクリームなどなど）を食べ、その後は学校の体育館でドッジボールをし、おおいに盛り上がりました。

2010年4月22日（木）



函館山にあった当時の校舎と寮（明治40年まで）